

平成27年度第3回帯広市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：平成27年度12月24日（木）午後2時00分～午後3時30分

場 所：帯広市役所10階第5B会議室

出 欠：出席 15名、欠席 2名 事務局 4名、委託事業者 2名

会議概要

1. 開会

（黒田事務局長）

本日の会議は委員17名中15名の委員に出席いただきました。規約第6条第2項による過半数の出席があることから、会議が成立していることを報告致します。

（中尾会長）

前回の会議では今年度実施する調査の内容について、皆様にご協力いただき、そしていただいた意見を踏まえて、調査を実施して参りました。今回の会議では3つ報告がございまして、調査の報告、地方公共交通網形成計画の方向性について、本事業の事業評価についてご説明をさせていただき、皆様の意見を伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

2. 議事

（1）公共交通交通網形成計画策定調査業務の中間報告について

帯広市より中間報告の前に全体のスケジュールや進捗状況を説明 **資料2** と **資料3**
北海道開発技術センターより説明 **資料4** と **資料5**

（中尾会長）

ただいま資料2,3,4,5の説明がありましたが、皆様からご質問やご意見はございますでしょうか。

（企画課 佐藤委員）

調査アンケートの件で質問したいのですが、収集数や回収率では何か目標はあったのでしょうか。

（北海道開発技術センター）

おおむね3割といったところを目標とさせていただきました。3割というのが、開票数として概ね100票を各調査で回収したいというところの3割でございます。

(帯広運輸支局 頼本委員)

路線バス利用者へのアンケートについて、配布した 2000 部の内訳はどうなっているのか。

あと、レンタカーの回収率がかなり低いですが、ふた開けてみないとわからないというやり方だったので、途中でやる気がほとんどなくなったのだと思うんですけども、何とかできなかったのかと。でも、高校生の回答は先生方が回収するから、かなり回収はされたと思いますが、そこは冬もやる必要があるのか。

(北海道開発技術センター)

路線バス利用者へのアンケートですが 2000 部の内、駅前での配布 1000 部、車内で配布用に用意させていただいたのが 1000 部と当初は分けておりました。しかしながら、バス車内で留め置きにつきましては、当初からお持ちいただくのは少ないだろうという想定から配布数の設定をさせていただき、全体としての回収数として、統計的な信用、信頼を得るために 100 票以上は必要だろうと仮定しておりまして、かなり多めにご用意をさせていただいたところがありました。

レンタカー利用者へのアンケートですが、ご指摘いただきました通り、今回の調査方法につきまして 5 票という結果は調査方法に不備があったと認めさせていただくところでございます。今後冬期における調査ですが、レンタカー利用者に対する公共交通の感度というのはかなり低いのかなと感じており、この方々に一生懸命アンケートをやるよりは、別の手段を投じた方が良いのではと考えております。

(十勝バス 長澤委員)

OD 調査の関係ですが、停留所ごとの乗車数というグラフがありますが、この結果が往復が見える形だと、どこの方面に向かって乗っているのかと明確に分かるかと思えます。例えば、大空団地線ならば往復まとめて載っており、他のところは片側が載っているため、冬にまた調査すると思うので往復という部分でも見えていれば後は比較も出来て、もっと見えやすくいいと思います。

(北海道開発技術センター)

はい、ありがとうございます。

(高齢者福祉課 金森委員)

資料 5 の p 6 の路線別支払方法のデータは、個別にもらえるでしょうか。

(北海道開発技術センター)

はい。

(中尾会長)

他にご質問、ご意見ございますでしょうか。

～質問なし～

(2) 地方公共交通網形成計画の方向性について

北海道開発技術センターより説明 資料 6

(中尾会長)

先ほど中間報告がありましたが、調査の中間報告に基づいての方向性ということで、この段階で決定ではなく、今の時点での方向性について皆さんと共有を図っていきたいという主旨でございます。

方向性のなかでも、これからの着眼点。それをどう整理して、まとめていくのかというところが多くあるかと思えます。皆様の方からこうした着眼点が必要ではないかといったことも含めて、何かご意見ございますでしょうか。

(十勝バス 長澤委員)

この中にも環境という言葉も役割の中に入っていますが、一般的に車が主流となっている人たちに対して、やはり環境というキーワードの中でバス路線を改善していく、充実を図っていくということも入れていただけたら。車を持ちつつ使用を自粛、減少させていく方向にしていきたい。

(中尾会長)

北海道開発技術センターさんにはお持ち帰りいただいて検討していただければ。

(北海道開発技術センター)

はい。

(中尾会長)

他にいかがでしょうか。

～質問なし～

(3) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

事務局より説明 資料 7

(中尾会長)

はい、ただいま事務局からご説明いただきました。
皆様の方からご質問等ございますでしょうか。

(中尾会長)

国からの指定様式でございますが、すべて書ききっていないところもありますね。
地図とか。

(事務局)

地図とかはまだ、そうですね。

(中尾会長)

そういったところを追記していただきながら、最終的には提出していただきたいと
いうことでお諮りをさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

～異議なし～

(中尾会長)

では、そのようにお願いします。
それでは今回の議題3つはこれで終わりますが、全体を通して皆様から何かござい
ますでしょうか。

～特になし～

事務局より次回の会議、今後のスケジュールについて説明。

3. 閉会

それでは長時間に渡り、ありがとうございました。
以上を持ちまして、平成27年度第3回帯広市地域公共交通活性化協議会を終了させ
ていただきます。